

【プログラム7： 上手なお金の使い方 ～どうする？あなたの意思決定～】

☆ねらい：社会人になったときの生活を考え、節度ある健全な金銭感覚を身につけようとする態度を育てる。

《プログラムの概要》

キーワードの例	お金の使い方
時 間	30分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	ワークシート（人数分）
主な活動	①高価な買い物の状況について考える。 ②クレジットカードについて知る。 ③「あなたならどうする？」を通して考える。 ④カード利用の便利さや危険性、カード利用の注意点について考える。 ⑤グループの意見や感想等を全体に紹介する。
気を付けること	○家庭環境に配慮を要する生徒がいる場合もあるので、あまり深入りした話等はしないようにする。 ○クレジットカードの利用を推進しているわけでも否定しているわけでもないので、どちらかに肩入れしたような進行はしない。 ○「あなたならどうする？」の場面設定は、高校卒業後に就職した場合を想定して場面設定を行っている。この時の収入額は、おおよそその高卒初任給とかけ離れない金額を設定しているので、必要に応じて変更して用いると効果的である。 ○技術・家庭「家庭分野」、各学科に共通する教科「家庭」の授業では、小学校の時から段階的に金銭教育に係る学習内容を取り扱ってきているので、このプログラムの実施にあたっては、技術・家庭「家庭分野」、各学科に共通する教科「家庭」の授業と連携を図ると効果が高まる。
備 考	○どの学年においても活用できる。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（2）ウク（3）アオ 【中学校 学級活動《現》】内容（2）ウキ（3）アエオ 【中学校 学級活動《新》】内容（2）アウエ（3）イウ